

三重県における WCS 用稲品種「たちすずか」を倒伏させない栽培指標

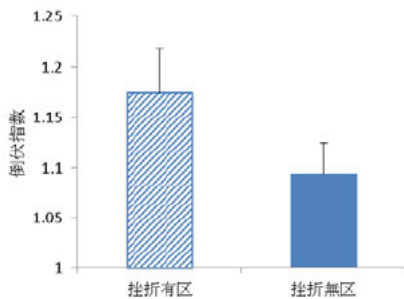
利用対象：WCS 用稲品種「たちすずか」を栽培する経営体

背景

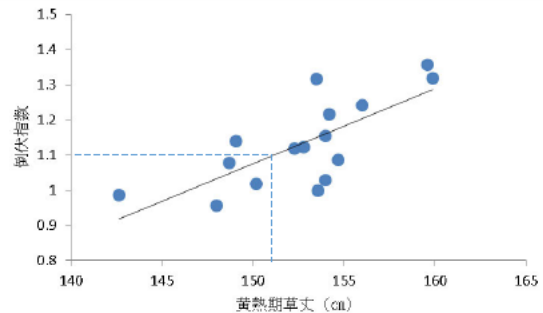
本県ではホールクロップサイレージ (WCS) 用稲品種「たちすずか」の導入が急速に進む一方で、台風による挫折型倒伏により大きく収量が低下する状況が見られています。挫折型倒伏を防止する栽培技術は確立されておらず安定生産に向けた課題となっています。

特徴

【人工台風試験での挫折の有無と倒伏指数の関係】

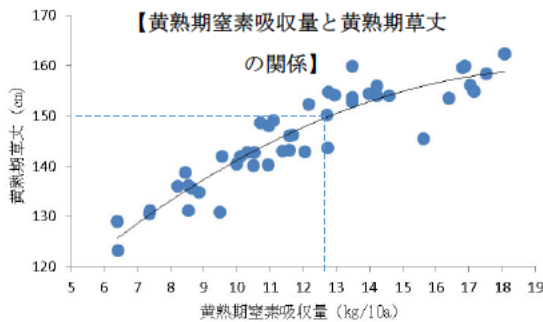


【黄熟期草丈と倒伏指数の関係】

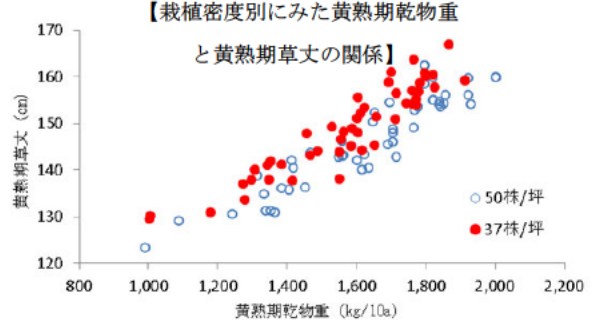


人工的に台風を再現した試験 (風速: 20m/s) では、倒伏しやすさを表す倒伏指数が 1.1 を超えると挫折型倒伏の発生の可能性が高まります。また、黄熟期草丈が 150cm までであれば、倒伏指数は 1.1 以下となります。

【黄熟期窒素吸収量と黄熟期草丈の関係】



【栽植密度別にみた黄熟期乾物重と黄熟期草丈の関係】



「たちすずか」の黄熟期窒素吸収量が 12kg/10a までであれば黄熟期草丈は 150cm 以下になります。また、栽植密度を 37 株/坪とするよりも 50 株/坪とする方が、草丈が短くなり倒伏を防止するのに適しています。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 内山裕介	電話 0598-42-6359
	中央農業改良普及センター 芳尾知也、中村雅人	電話 0598-42-6323 0598-42-6705
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm	